新たな未来へ Go For It!

夢をかたちに・・・

URAYASU

30th Anniversary

2010年度　社団法人浦安青年会議所

ガチンコ富士登山～子ども達の未来のために～

JCI (社)浦安青年会議所　　名前＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

はじめに

（社）浦安青年会議所
理事長　梅澤　隆正

子ども達は、将来の夢や希望と共に悩みを抱えているのではないでしょうか。大自然の中で自分を見つめ直す機会として、富士登山を企画します。子ども達に富士山頂を目標とし、日常生活ではなかなか経験できない数々の試練のなかで、仲間と助け合い、励まし合い、頂上まで登りつめた時に自ずと答えは見えてくるはずです。また、山頂を目指す長い道のりのなか、JCメンバーと子ども達が将来の夢や今抱えている悩みを語り合うことにより、子ども達の今後の生活の糧になればと考えます。日本一高い場所で、達成感・喜び・感謝・感動など様々な気持ちを感じてもらい、その経験は子ども達の今後の人生においてかけがえのない宝物になると思います。

全体のスケジュール

【事前説明会】７月１１日（日）舞浜倶楽部新浦安フォーラム

・親子への事前説明会を開催する
・登山に向けてのグループ分けや、備品の確認をおこなう
・子ども達同士の交流会

【富士登山】８月４・５日

・早朝、バスで浦安市を出発し、富士山5合目まで向かう
・5合目にて昼食をとり、8合目元祖室（山小屋）を目指し登山開始
・山小屋にて夕飯、仮眠をとった後、ご来光を拝むため山頂を目指す
・山頂ポストに今の思いをハガキに託し投函
・山頂→5合目まで下山し、バスにて浦安へ帰る

【報告会】８月２５日日の出公民館

・父母への報告ＶＴＲ
（登山前、登山中、宿泊時、頂上、下山時）
・子ども達からの富士登山報告

説明会のスケジュール

平成２２年７月１１日
舞浜倶楽部新浦安フォーラム

時刻	スケジュール	備考
10:00	理事長挨拶	理事長　梅澤　隆正
10:05	開催趣旨　説明	青少年健全育成委員会 委員長　高橋　進
10:10	概要説明	DVDイメージビデオ 委員長より説明
10:30	グループミーティング	各班に分かれて自己紹介等
11:00	ウォーキングスタート	各班毎に歩く
11:10	保護者向け説明会・質疑応答	ウォーキング中に説明会を行います
12:10	各班毎の意気込み発表会	グループ名等の発表
12:30	解散	

富士登山のスケジュール

時刻	スケジュール	備考
1日目（4日）		
5:00	参加者集合（受付）	総合駐車場（図書館駐車場）
5:30～8:30	富士山五合目に向けてバスにて出発	車中にて朝食(各自用意)移動中トイレ休憩有り
8:30	五合目到着	
9:00～12:00	結団式・説明・登山準備・昼食	五合目:五合園レストハウス
12:00～16:00	八合目へ向けて登山	
16:00～17:00	八合目宿泊先にて夕食	元祖室
17:00～	オリエンテーション	
17:30～0:30	就寝	
２日目（５日）		
0:30～1:00	起床	出発準備
1:00～5:00	山頂へ向け登山	
5:00	山頂到着ご来光	
5:30～7:00	山頂観光･写真･ビデオ撮影	
7:00～7:30	下山準備	
7:30～12:00	五合目まで下山	
12:00～14:00	昼食･帰り支度	
14:00～17:00	浦安へ向けバスにて移動	
17:30	浦安到着予定	

報告会のスケジュール

平成２２年８月２５日
日の出公民館

時刻	スケジュール	備考
19:00	参加者受付	
19:30	理事長挨拶	理事長　梅澤　隆正
19:35	事業報告 ・映像による報告 ・はがき授与式 ・各班ごとの報告会	
20:40	総括	
20:45	解散	

剣ヶ峰 3776
成就ヶ岳
白山岳 3756
大日岳
冨士浅間神社
吉田・須走ルート頂上
八九合目 3600
下山道
八合五勺
御殿場ルート
御来光館 3450
上江戸屋
本八合トモエ館
富士山ホテル
本八合目 3400
下江戸屋
元祖室 3250
下江戸屋分岐
鳥帽子岩
白雲荘
元祖室
蓬莱館 3150
八合目
救護所
太子館 3100
2836
東洋館
鳥居荘 2900
富士一館
救護所
鎌岩館
緊急避難所
七合目トモエ館
七合目
日の出館
花小屋 2700
WC
獅子岩
富士山公衆トイレ
（チップ制）
登山道
御中道
富士山
安全指導センター
六合目 2390
経ヶ岳 2381
泉ヶ滝
富士スバルライン
P
WC
スバルライン
五合目 2305
小御嶽神社
里見平星観荘
佐藤小屋
吉田ルート
滝沢林道

河口湖口（吉田ルート）

●五合目（富士スバルライン終点）　標高2305m

最初は道幅も広く、平坦な道で始まり、泉ヶ滝まではゆるやかな下りが続く。
そのため、つい早足になり、それが後になって高山病を誘発する要因に。
ここではゆっくりと体を慣らしながら歩くことが賢明。
1kmほど平坦な道を歩いた後、泉ヶ滝から登りが始まる

●六合目　標高2390m

六合目で吉田口登山道と合流。
ここから山頂までは吉田ルートと呼ばれ、黄色の標識で「吉田」と表示される。
富士山安全指導センターでは登山情報、天気情報などを掲示。
六合目から七合目の最初の山小屋である「花小屋」までは
整備されたジグザグの坂道が続く。（約1時間）

●七合目　標高2700m

「花小屋」の建っている場所からは急な岩場になる。
ゴツゴツした溶岩の上を手で支持しながら登る場所もあるため、
軍手が必要。
この辺りは10～15分ごとに山小屋がある密集地。
「花小屋」からは「日の出館」「鎌岩館（救護所）」、少し間があって
「富士一館」「鳥居荘」「東洋館」と続く

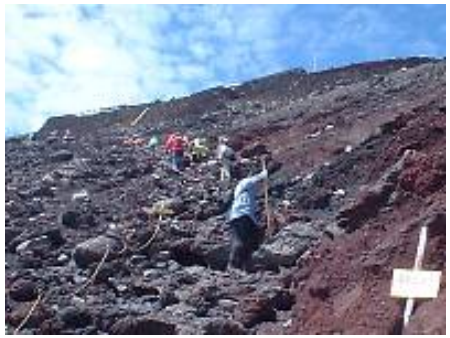
●八合目　標高3000m

「太子館」が見えてきたら標高3000mを超え、八合目に到着。頂上まで約2km。3000mを超えると気温が下がり、防寒着が欲しくなる。酸素も薄くなるため、息切れがしやすい。やがて岩稜の登山道から砂礫の滑りやすい道へと変わる。「蓬莱館」、「白雲荘」を経て「元祖室」へ。

●本八合目　標高3400m

「富士山ホテル」の脇を通過して、本八合目の「八合目トモエ館」「江戸屋」のある地点で須走口と合流。
「トモエ館」と「江戸屋」の間の登山道を進む。
次の八合五勺、「御来光館」が山頂前最後の山小屋。

●九合目　標高3600m



さえぎるものがなく、頂上はすぐそこ。「胸突き八丁」と呼ばれる急坂もあるが、気力を奮い呼吸を整え、ゆっくり登る。

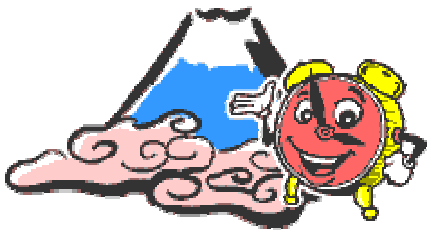
●山頂　標高3720m

ついに登頂！！鳥居と狛犬がお出迎え。
山頂には山小屋が並び賑わいをみせる。

登山装備一式

基本装備	必要度 ◎必須○重要△あると便利	アドバイス
レインウェア（上下）	◎	防寒対策にもなるので必ず持って行く。上下分かれるセパレートタイプが良い。
防寒着	◎	山頂付近は天候次第で氷点下になりますので防寒具は必須。５合目付近ではそれほど。必要ないので、出来れば小さくたためてリュックにしまえるフリース、ダウンなどがベスト。
長袖シャツ	◎	山頂は氷点下になることもあるので必須。
機能性アンダー （下着）	◎	下着の替えは、濡れた時のためにあった方が良い。
ズボン	◎	ストレッチ素材で速乾性のものを。
スパッツ	◎	靴の中に砂利や小石が入るのを防ぐ。
ソックス	◎	中厚で速乾性素材のものを。
登山靴	◎	出来れば登山用の物が良い。ｽﾆｰｶｰはオススメできない。はき慣らす必要がある。中に砂利が入らないようにするためにも、足首まで隠れるﾊｲｶｯﾄﾀｲﾌﾟがオススメ。
手袋	◎	防寒対策はもちろん、岩に手を付いたときの保護にも役立つ。
帽子	◎	日差しが強いので、ツバの広いものが良い。朝は寒いのでニット帽も効果的。
リュック	◎	防寒具、着替え、おやつ、その他を考えると30L程度の大きさが良い。
リュックカバー	◎	防水だけでなく、汚れ防止にも。
ヘッドランプ	◎	夜中に歩く場合に必要。出来るだけ明るくなるタイプを選びたい。予備電池も。
飲料水	◎	１Ｌ位のものを。ペットボトルにも水を準備しておきたい。（けがをした時にも使えます）
タオル	◎	日焼け対策、防寒対策、雨対策など、さまざまな場面で役立ちます。２～３枚用意して下さい。
日焼け止めクリーム	◎	日差しが強いため、あった方が良いです。

おやつ等	◎	ﾁｮｺﾚｰﾄや、ｻﾌﾟﾘﾒﾝﾄなど、準備した方がよい。重くなるので、必要以上の準備は不要です。ﾎﾟﾃﾄﾁｯﾌﾟｽ等はパンパンに膨れてしまうので、やめた方が良いです。
ビニール袋（ゴミ袋）	◎	防水用やごみの持ち帰り用など数枚用意。（マナーです）
トイレットペーパー	◎	途中のトイレに無い場合もあります。ケガをした場合にも役立ちますので、必ず必要です。
健康保険証	◎	保険証のコピーを準備して下さい。
筆記用具	◎	山頂から手紙を書きます。書き慣れた物を！
小銭	◎	富士山で、ﾄｲﾚは有料です。100～200円位かかるので100円玉をたくさん準備
ウエットティッシュ	◎	山小屋にお風呂はありません、ウエットティッシュなどで対応して下さい。
登山ステッキ	○	特に、下り坂での脚への負担対策に役立ちます。
サングラス	○	厳しい日差しに目を傷めないためにも、サングラスは常備したい。
ﾊﾞﾝﾄﾞｴｲﾄﾞ・消毒薬	○	いざというときのために。
着替え用Ｔシャツ	○	下着の替えは、濡れた時のためにあった方が良い。
携帯電話	○	緊急時に役立ちます。
カメラ	△	ﾒﾝﾊﾞｰが撮影しますので基本は不要です。出来るだけ身軽の方が登りやすいです。
携帯酸素	△	高山病になってしまったときに必要です。食べる酸素などもあります。



ﾄｲﾚではお金がかかります。

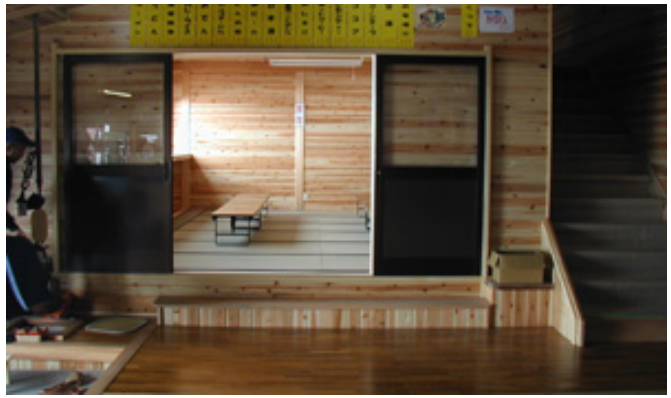
100円玉を用意してね！！！

悪天候時の判断基準及び対応

前日まで	雨天	決行
	大雨	現地当日の天気予報参照
	台風	中止
五合目	雨天	決行
	大雨	ガイドの指示に従う
登山中		すべてガイドの指示

元祖室のガイドが、中止と判断した場合を除き、
参加費の返金は出来ません

宿泊地　八合目元祖室



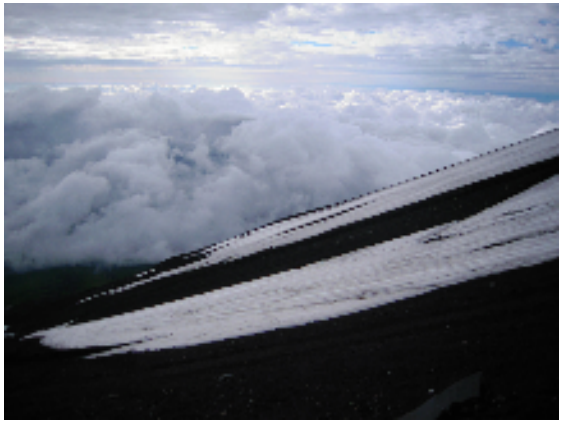
連絡先

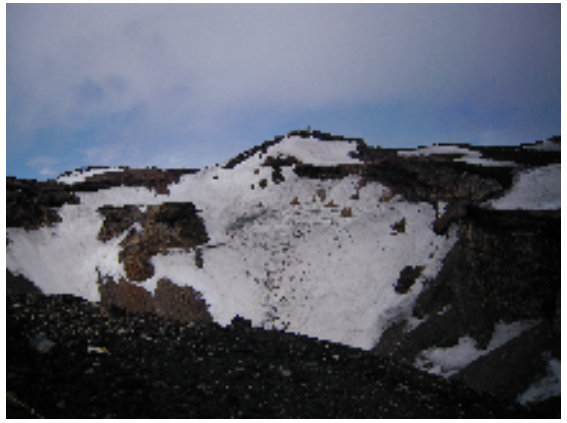
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田６－９－４

TEL0555-24-6513

http://www.mfi.or.jp/w3/home0/fujisan/index.html

現地調査　写真集　’10.7.5





チーム名				チーム名			
JCメンバー	しろみず　ちえ 白水　千絵	5	北部小	JCメンバー	おかもと　ゆきほ 岡本　幸穂	4	高洲北小
りーダー 小松　正人	かつまた　あやめ 勝又　菖	5	東野小	りーダー 並木　早人	たけうち　もえの 竹内　萌乃	5	見明川小
サブりーダー 鈴木　康文	ふけ　まほ 福家　真帆	5	日の出小	サブりーダー 大島　信彦	ねもと　ゆみ 根本　ゆみ	5	富岡小
カメラ 金子　泰之	たばた　かける 田畑　駈	4	明海南小	カメラ 大友　裕輔	たばた　なな 田畑　七奈	6	明海南小
	にしむら　せいま 西村　青真	4	入船北小		いわた　たいき 岩田　大希	4	北部4小
	ただき　ゆうま 但木　悠真	5	日の出小		こばやし　てった 小林　哲大	4	日の出小
	ほそかわ　かつひろ 細川　勝弘	6	入船南小		まえ　こういち 前　洸一	5	東野小
委員会 加藤麻利子				委員会 今野　厚史	のむら　こうすけ 野村　光甫	6	高洲小

チーム名				チーム名			
JCメンバー	あきもと　くるみ 秋本　くるみ	4	東小	ＪＣﾒﾝﾊﾞｰ	はらだ　あやか 原田　彩加	4	南小
リーダー 佐々木　弘二	いわた　かな 岩田　夏奈	5	北部小	リーダー 鈴木　誠	こうた　なお 幸田　菜愛	5	東小
サブリーダー 宮坂　奈緒	あおやま　ゆりこ 青山　百合子	6	入船南小	サブリーダー 西川　嘉純	たかの　まりん 高野　まりん	5	東野小
カメラ 加納　亮輔	そうま　こうすけ 相馬　浩輔	4	日の出南小	カメラ 高梨　健太郎	よこた　じゅんぺい 横田　隼平	4	日の出南小
	かめい　しょう 亀井　将	4	日の出南小		まつしま　かい 松嶋　海	4	日の出南小
	いなやま　たかひろ 稲山　貴大	5	高洲小		なみまつ　だいすけ 並松　大介	5	高洲小
	みやけ　こうへい 三宅　耕平	6	明海南小		しのはら　そら 篠原　空	6	入船南小
委員会 大塚　孝典	にしむら　ゆうじ 西村　雄志	6	明海南小	委員会 早川　ひとみ	たかむら　ようへい 高村　陽平	6	高洲小

チーム名				チーム名			
JCメンバー	たじ　せいや 田路　聖也	4	高洲小	ＪＣﾒﾝﾊﾞｰ	ひぐち　りょう 樋口　凌	4	東野小
リーダー 古志　智宏	やまむら　けんと 山村　健登	4	東野小	リーダー 金子　雅一	きむら　ひかる 木村　光	4	舞浜小
サブリーダー 深作　寛	ばんどう　あゆのすけ 坂東　歩乃佑	4	北部小	サブリーダー 熊木　幸治	おかにわ　たくみ 岡庭　拓海	4	入船南小
カメラ 田中　俊介	とみた　りょうま 冨田　涼真	5	南小	カメラ 田中　孝昌	かまくら　だいすけ 鎌倉　大佑	5	高洲北小
	いのうえ　りょうま 井上　龍馬	5	南小		こばやし　りょうた 小林　凌大	6	日の出小
	よしだ　ひびき 吉田　響	6	入船南小		たはら　たいせい 田原　大聖	6	明海南小
	おぐろ　まさしげ 小黒　将茂	6	高洲小		きづか　つよし 木塚　毅	6	舞浜小
委員会 村瀬　泰生	はらだ　ひろき 原田　啓生	6	南小	委員会 田所　総	ふじい　りく 藤井　陸功	6	舞浜小

登山注意事項

1．ガイド・ＪＣメンバーの言う事を良く聞いて下さい。自分の体調にあった登山に心がけてください。
2．困った、負傷した、気持ち悪くなった時には近くのＪＣメンバーに声を掛けて下さい。
3．石や高山植物は決して持ち帰らないで下さい。また、石を絶対に蹴らないで下さい。
4．富士山にはゴミ箱はありません。必ずゴミは持ち帰りましょう。
5．急いで登ると高山病になりやすいので、体をならして登山してください。
6．夜間登山するので必ずかいちゅう電灯（ヘッドライト）を携帯して下さい。
7．高山病になったら無理しないで下さい
8．富士山は常に気象が変化するので、雨具、防寒具、着替えなどを用意してください。
9．登山中、はぐれる場合が多いので、仲間同士で時々ついてくるか確かめてください。

単独行動は禁止！！

登山のマナー

『登り優先です』
『ゴミは持ち帰る』
『動植物の採取をしてはいけません』
『団体登山の場合、自由行動は禁物です。常にリーダーの指導に従いましょう』
『落石に注意を』
『山小屋では早めの就寝を』
『むやみにコースを外れない。』

体調管理

『体力づくり』
『前日たっぷり睡眠をとる』
『ゆっくりとしたペースを心がけよう』『充分な水分補給』
『高山病の特効薬は下山です』

JCI (社)浦安青年会議所